



## 羅針盤 R8(2026)-No.2



### 仕事の仕方指針！

学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は子供が主人公！  
誰一人取り残さない！ 子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！  
One for all. All for one. One team. チーム玉川小

令和8年4月1日（水）  
昭島市立玉川小学校  
校長 小瀬 和彦

## I 仕事の仕方指針

- i 報告・連絡・相談は迅速かつ正確に行う。（「これぐらいは、いいや！」、「たいしたことではないから…」という安易な判断が大きな失敗を起こす。）＋〔報告の際は、できれば判断も示す。〕
- ii 苦情・相談・報告等を受けたら、副校長に声をかけ、校長室で迅速に報告する。＋〔解決策があれば、同時に提案する。〕⇒共通理解が必要な事項は、即日の職員夕会 or 翌日の職員朝会で報告する。
- iii 子供や保護者を巡るトラブル（喧嘩、物かくし、いじめ、誹謗中傷）は、必ず学年の教員・主任・主幹・管理職に報告する。

## II 働き方指針

「嘘はつかないこと、約束は守ること、礼儀正しくすること、間違えたら誤ること」  
「TPOに応じた服装をすること」

- i 『主体性をもって仕事に当たる』こと。他人事ではなく当事者意識をもつこと。
- ii 自分に与えられた使命は何か？施策の背景・意義・意味を正しく理解すること。
- iii 与えられた仕事の中でどれを優先させるのか、どれを先送りにするのか、を判断すること。
- iv ライフワーク・バランス（定時退庁日の遵守・ムリな残業ゼロ）の尊重と生産性の向上を意識すること。
- v 頼まれた仕事は、質より鮮度を尊重する。先を見通し適切な進行管理を行う。

## III 組織指針・チーム玉小！

- ◎ 各教員はリーダーシップを発揮し、各学年会・専科会をグループからチームへと高めていく。（教職員一人一人が主任・主幹のつもりで考え・行動する！）
- 学年会・専科会を定期的に設定し、対話・討論・協議・学び合い・問題解決（学年・学級・専科経営、学習指導・教材研究、生活指導、校務分掌等）の場を設定している。
  - 授業は、各教科等の単元導入前に、学年会・専科会を設定し、基本的な指導方法・内容について共通理解を図った上で実践している。
  - 各教科等の指導計画についてカリキュラム・マネジメント（指導計画のPDCAサイクル化）を行い、ゼロスタートではなく指導書に準じて授業を実施している。（改善した場合は、実施後に朱書きで修正する。）
  - 教室環境等は清潔に保ち、整理整頓を図り、ユニバーサルデザイン（障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず全ての人が利用しやすいよう教室をデザインする考え方）にし、学年・専科相互にチェックし合っている。